

令和元年産 紀南の中晩柑産地情報

2020/01/08

1. 果実の着果・生育状況

本年の中晩柑着果量は、品種・園地によりバラツキはあるものの、各品種とも平年よりやや少なくなっている。



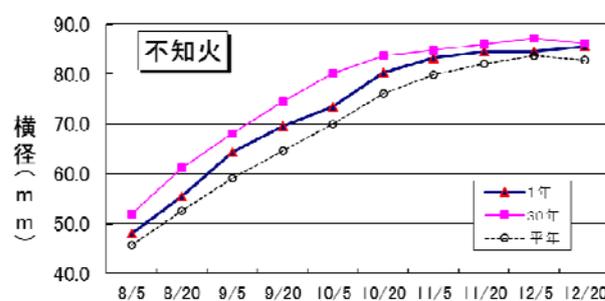
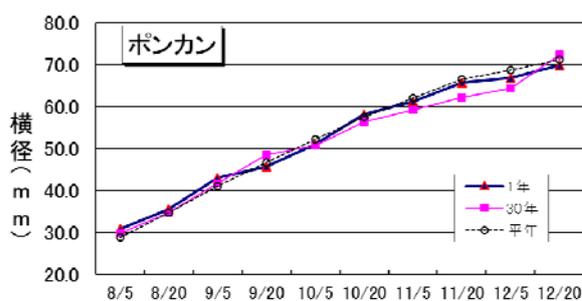
2. 果実の品質状況

1月8日時点の不知火の定点品質調査では、糖度12.8%、酸度1.36%となり、糖度・酸度とも前年並みとなっている。

12月20日時点の実肥りは、ポンカン・不知火とも平年並みとなっている。ただし品種や着果量によって若干のバラツキがある。

着色は各品種とも平年に比べるとやや遅れている。

中晩柑基準園の肥大状況



3. 収穫・販売予定

◎木熟ポンカン

1月に入り本格的に収穫が始まり、2月下旬まで販売予定。

◎八朔・紅八朔

1月に入り収穫を開始しており、販売は1月下旬までを予定している。
木熟八朔は3月上旬から販売予定。

◎不知火（デコポン）

ハウス不知火（デコポン）は1月下旬から2月上旬にかけて販売予定。
露地不知火（デコポン）は2月中旬から3月中旬にかけて販売予定。

4. 管内生産予想量（1月8日時点）

主要品種	面積 ha	生産予想量 t	生産量前年比%
ポンカン	33.6	369	86
八朔	23.6	400	88
不知火	30.9	352	80
清見	25.2	266	71
中晩柑合計	196.7	2,481	85

生産量は今後の気象等により変動することがある。